

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-240	高等学校	国語	言語文化	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	言文 002-902	精選言語文化		

1.編修の基本方針

① 社会人として求められる言語能力を身につけるとともに、言語文化に対する関心と理解を深める。

- ・各単元扉に、その単元での学習目標と、学習する作品や教材に関連した年表、学習する内容に関連した解説を示すとともに、現代文編では、教材ごとに学習する主な目標も示しました。また、「発問」や「学習の手引き」において、学習が効果的に行えるようなポイントを示しました。
- ・教科書冒頭には、上代から現代に至る言語文化の継承と発展を示す「言語文化の見取り図」を用意し、教材との関連を持たせました。
- ・言語文化に対する関心と理解を深めることができる教材を、時代やジャンルのバランスに配慮して掲載しました。また、古文編と漢文編の間には「文体の変遷」を用意し、上代から近代に至るまでの日本語の文体の変化に触れることができるようにしました。

② 論理的思考力や深く共感したり豊かに想像したりする力、伝え合い、自分の考えを形成する力を高める。

- ・展開を捉えて内容を理解するのに適した小説教材や随筆教材を用意しました。また、想像力や表現力を養えるよう、筆者の豊かな感性が表れた詩歌教材や随筆教材を配置しました。
- ・古文編では「昔の犬は何と鳴く」を用意し、言葉の変遷について論じた文章を読み解くことを通じて、自らも調べたり考えを持ったりできるようにしました。
- ・漢文編では『論語』の注釈を読む」を用意し、日本における『論語』受容の歴史を知るとともに、中国や日本の学者の『論語』解釈に触れることで自らも解釈を試み、自分の意見を持つことができるようにしました。
- ・コラム形式または手引き形式の「言語活動」を、その活動に関連のある作品・教材等の近くに設け、「書く」「読む」能力を有機的かつ効果的に高めることができるようにしました。また、グループ活動を視野に入れたものを豊富に設定することで、伝え合う力を高められるようにしました。

③ 教材本文とコラム・附録等との関連を図り、多様な学習に対応できるようにする。

- ・現代文編では「現代文の窓」(2か所)や「小説の読み方」、古文編では「古文の窓」(12か所)、漢文編では「漢文の窓」(6か所)をそれぞれ設け、単元や教材で学習した内容を深めたり広げたりできるようにしました。
- ・「参考」を古文編では4か所、漢文編では3か所設け、学習の補助や発展に利用できるようにしました。
- ・古文編では「古文学習のしるべ」(5か所)を設け、古文に関する基本的知識や文法事項を、読むことの学習に即して身につけられるようにしました。
- ・附録には、豊富な資料を用意し、多様な学習に対応できるようにしました。現代文関連として「近代文学史キーワード」「読書案内」「日本近代現代文学史年表」を、古文関連として各種文法資料や「古文重要語句索引」「日本古典文学史年表」などを、漢文関連として「漢文句法・重要語のまとめ」「中国文学史年表」を用意し、教材本文と有機的に関連させて学習ができるようにしました。また、学習の見通しや振り返りに生かせるように、「この教科書で学ぶこと」を用意しました。巻末にも、古典の世界についての理解を深める資料を豊富に用意しました。

2.対照表

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
現代文編	1 小説	<ul style="list-style-type: none"> ・極限状態にある人間が、正義と悪の間を揺れ動く様子を通じて、正義とは何か、勇気とは何かについて考える小説を用意しました。(第3号) ・死に直面する経験をした「私」が、他者の死に接することで自らの生を意識し、生と死について考える小説を用意しました。(第4号) 	→10～23ページ →28～39ページ
	2 随筆	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の伝統的な文化である俳句をテーマとして、季語の特性について考える随筆を用意しました。(第5号) 	→66～69ページ
	3 詩歌	<ul style="list-style-type: none"> ・近現代の代表的歌人・俳人の作品など、伝統的な定型詩を理解し、味わうことができる教材を用意しました。(第1号)(第5号) ・「小景異情」「I was born」など、高校生の情操を培うのにふさわしい詩を用意しました。(第1号) 	→76～79ページ、 80～83ページ →84～93ページ
	4 作品を読み比べる	<ul style="list-style-type: none"> ・桜に関して書かれた多様な形式の作品を読み比べることで、日本文化における桜のありようについて考える教材を用意しました。(第5号) 	→96～100ページ
古文編	1 古文入門	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の能力や生き方などについて考えることができる教材を用意しました。(第2号) ・伝統的な言語文化を理解するための基本的な力を培うことができる「古文学習のしるべ」を用意しました。(第5号) 	→106～107、110 ～111、112～113 ページ →104～105、108 ～109、114ページ
	2 随筆	<ul style="list-style-type: none"> ・普遍的真理や処世訓などについて述べた教材を用意しました。(第1号) ・自然や人為に対する感性を育むことができる教材を用意しました。(第1号) 	→118～122、124 ～125ページ →128～131ページ
	3 歌物語	<ul style="list-style-type: none"> ・他者との心の通じ合いや相手を思いやる心を描いた教材を用意しました。(第3号) ・古文が後世の文化にさまざまな影響を与えたことが理解できる教材を用意しました。(第5号) 	→134～135、137 ～148ページ →150～151ページ
	4 日記	<ul style="list-style-type: none"> ・他者との共生や周囲の人への愛情など、人間の営みについて考えることができる教材を用意しました。(第3号) 	→154～159ページ
	5 和歌	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌に表れた情景や心情から、生命や自然についての考えを深めることができる教材を用意しました。(第4号) ・伝統的な技法を用いて短歌を作ったり、それぞれの時代の恋の歌を読み比べることで伝統的な言語文化に親しんだりできる教材を用意しました。(第5号) 	→162～175ページ →179～184ページ
	6 作り物語と軍記物語	<ul style="list-style-type: none"> ・相手を思いやる心や人間の生き方について考えることができる教材を用意しました。(第3号) ・古文が時代を超えて愛されてきたことが理解できる教材を用意しました。(第5号) 	→187～193、196 ～205ページ →206～208ページ
	7 俳諧	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の景観と人間の営みについて描いた教材を用意しました。(第4号) ・古文がさまざまな地域で享受されてきたことが理解できる教材を用意しました。(第5号) 	→210～216ページ →218～219ページ
	古文の広がり	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の変遷について論じた教材を用意しました。(第5号) 	→220～224ページ
	文体の変遷	<ul style="list-style-type: none"> ・文体の変遷について考えることができる教材を用意しました。(第5号) 	→225～228ページ

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
漢文編	1 漢文入門	<ul style="list-style-type: none"> ・熟語や人口に膾炙した格言などを通じて、訓読のきまりや日本における漢文の受容について知ることのできる「訓読の基本」を用意しました。(第5号) ・漢字の読みと意味の関係を理解することで、漢字に親しみ語彙力を高めることのできる「言語活動」を用意しました。(第5号) 	→230～238ページ →239ページ
	2 寓話	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文についての理解を深める「漢文の窓」を用意しました。(第5号) 	→250ページ
	3 詩文	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の繊細さや季節の情景に触れた漢詩を用意しました。(第4号) ・漢詩が日本の文芸に与えた影響を示す訳詩や、「参考」を用意しました。(第5号) 	→252～253ページ →252、253、258ページ
	4 史話	<ul style="list-style-type: none"> ・友情や信頼の大切さについて考える教材を用意しました。(第3号) 	→266～267ページ
	5 思想	<ul style="list-style-type: none"> ・学問の重要性、人を思いやる心、社会に対する態度について考えることのできる教材を用意しました。(第1号)(第2号)(第3号) ・日本における漢文受容の歴史を知るとともに、根拠に基づいて自らの考えを形成する態度を養う教材を用意しました。(第1号)(第5号) 	→274～277ページ →278～280ページ

3.上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

○中学校までの学習内容とのつながりを図りやすくするため、教材の採録箇所を工夫しました。(学校教育法第51条1号)

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-240	高等学校	国語	言語文化	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	言文 002-902	精選言語文化		

1.編修上特に意を用いた点や特色

- ① **目標**…言語文化に対する関心と理解を深め、論理的に考える力や共感したり想像したりする力を育成し、社会人として求められる言語能力を身につけられるよう、言語文化への興味・関心を広げられるような教材を選定し、「内容」に示された「知識及び技能」の二事項と、「思考力、判断力、表現力等」の二領域の学習が効率的・有機的に行えるようにしました。
- ② **「言葉の特徴や使い方」**…「知識及び技能」に示された「言葉の特徴や使い方」に関する事項の指導が行えるよう、「現代文編」の各教材末に「漢字と語彙」を示しました。「古文編」「漢文編」では、教材ごとに重要語句や重要助字・句法を取り上げ、それぞれ附録に索引も用意しました。
- ③ **「我が国の言語文化」**…「知識及び技能」に示された「我が国の言語文化」に関する事項の指導が行えるよう、「古文編」「漢文編」では、文語のきまり・訓読のきまりについて、読むことの学習に即して取り上げられるように配慮しました。「古文学習のしるべ」や「訓読の基本」などでは、教材に即して重点的に扱えるようにしました。また、「文体の変遷」のページでは、歴史的な文体の変化について理解を深められるようにしました。更に読書については、「現代文編」の「小説の読み方」や、「古文編」の「昔の犬は何と鳴く」、附録において「読書案内」を示しました。
- ④ **「A 書くこと」**…「古文編」と「漢文編」に短歌や訳詩を作るなどの教材を用意しました。「短歌を作る」では、作った短歌を短冊に書く活動を設け、中学校国語科の書写との関連を図るようにしました。
- ⑤ **「B 読むこと」**…教材については、「3内容の取扱い」(4)エ・オの観点に示された事項に留意して選定しました。言語活動については、アの論述・発表とイの批評・討論は、読解教材に関連して行えるよう教材末の設問を工夫し、ウの読み比べは「現代文編」「古文編」「漢文編」に、エの書き換えとオの調査・発表は「古文編」に示しました。

2.対照表

単元	教材名	学習指導要領の内容			頁	配当時数			学期
		知識及び技能	思考力、判断力、 表現力等			書	読	計	
			書くこと	読むこと					
現代文編									
1小説	羅生門　〔言語〕	(1)ア、イ、ウ、エ		(1)ア、オ	10		3	3	1 学 期 9
	〔言語〕翻案作品を原作と読み 比べる	(1)ア		(1)エ、オ／(2)ウ	24		1	1	
	城の崎にて　〔言語〕	(1)ア、イ、ウ、エ		(1)ア、イ	28				
	■小説の読み方	(2)カ		(1)イ、ウ	40		2	2	
	鏡	(1)ア、イ、ウ、エ		(1)ア、イ	43				
	■現代文の窓1　怪談の文学史	(1)ア／(2)ア		(1)エ	53		2	2	

単元	教材名	学習指導要領の内容			頁	配当時数			学期
		知識及び技能	思考力、判断力、 表現力等			書	読	計	
			書くこと	読むこと					
2随筆	〔言語〕改稿による違いを読み 比べる	(1)ア、エ		(1)エ、オ	54		1	1	2 学 期 9
	天井裏の時計 〔言語〕	(1)ア、イ、ウ、エ		(1)ア、オ	56		2	2	
	人生初季語 〔言語〕	(1)ア、イ、ウ、エ		(1)ア、イ	66		1	1	
	耳覚めの季節 〔言語〕	(1)ア、イ、ウ、エ		(1)ア、オ	70		2	2	
	こころの鉦—短歌抄	(1)ア、ウ		(1)ア、ウ	76		1	1	
秋の航—俳句抄	(1)ア、ウ		(1)ア、ウ	80					
小景異情	(1)ア、ウ		(1)ア、イ	84					
3詩歌	一つのメルヘン	(1)ア、ウ		(1)ア、イ	86		1	1	3 学 期 3
	I was born	(1)ア、ウ		(1)ア、イ	88				
	あいだ	(1)ア、ウ		(1)ア、ウ	92				
	■現代文の窓2 文語定型詩 から口語自由詩へ	(1)ア／(2)ア		(1)エ	94		1	1	
	4作品 を読み 比べる	桜に関する作品を読み比べる 〔言語〕	(1)ア、ウ、エ／ (2)ア		(1)エ、オ	96		3	
	現代文編 計						21	21	
古文編									
1古文 入門	児のそら寝	(1)ア、ウ、エ／ (2)ウ		(1)ア	102		1	1	1 学 期 9
	●古文学習のしるべ1 古文の言葉と仮名遣い	(2)ウ、エ		(1)ア	104				
	用光と白波	(1)ア、ウ、エ／ (2)ウ		(1)ア	106				
	●古文学習のしるべ2 古語を調べるために	(2)ウ、エ		(1)ア	108		1	1	
	絵仏師良秀	(1)ア、ウ、エ／ (2)ウ		(1)ア	110				
	大江山の歌	(1)ア、ウ、エ／ (2)ウ		(1)ア	112				
	●古文学習のしるべ3 係り結び／仮定条件と確 定条件	(2)ウ、エ		(1)ア	114		1	1	
2随筆	徒然草 〔言語〕	(1)ア、ウ、エ／ (2)ウ		(1)ア、イ、オ／ (2)イ	116		2	2	2 学 期 13
	方丈記	(1)ア、ウ、エ／ (2)ウ		(1)ア、イ、ウ	124				
	■古文の窓1 五大災厄—無常観の背景	(2)イ		(1)エ	126				
	枕草子 〔言語〕	(1)ア、ウ、エ／ (2)ウ、エ		(1)ア、イ、オ／ (2)イ	128		2	2	
	■古文の窓2 牛車	(2)イ		(1)エ	129				
	■古文の窓3 『枕草子』のパロディ	(1)ア／(2)イ		(1)エ	132				
3歌物 語	伊勢物語	(1)ア、ウ、エ／ (2)ウ		(1)ア、イ、ウ	134				2 学 期 13
	■古文の窓4 絵巻を読む	(2)イ		(1)エ	135				
	●古文学習のしるべ4 和歌の解釈	(2)ウ		(1)ア	136				
	〔言語〕『伊勢物語』と『大和物 語』を読み比べる	(1)ア、ウ、エ／ (2)イ、ウ		(1)ウ、エ、オ／ (2)ウ	144				

単元	教材名	学習指導要領の内容			頁	配当時数			学期
		知識及び技能	思考力、判断力、 表現力等			書	読	計	
			書くこと	読むこと					
	〔言語〕和歌を自分の言葉で書き換える	(2)ア		(1)イ、ウ、オ／ (2)エ	149		1	1	
	〔言語〕『伊勢物語』と絵画・工芸	(1)ア		(1)ア、オ	150		1	1	
	■古文の窓5 恋愛と結婚	(2)イ、ウ		(1)エ	152				
4日記	土佐日記	(1)ア、ウ、エ／ (2)ウ		(1)ア、ウ、エ	154				1
	■古文の窓6 吉日・吉方と旅立ち	(2)イ		(1)エ	155				
	■古文の窓7 地名と和歌	(1)ア／(2)イ		(1)エ	157				
	■古文の窓8 和語と漢語	(1)ウ／(2)ア、イ		(1)エ	160				
5和歌	万葉集〔言語〕	(1)ア、ウ、オ／ (2)ウ		(1)ア、イ、ウ／ (2)イ	162		1	1	
	古今和歌集	(1)ア、ウ、オ／ (2)ウ		(1)ア、イ、ウ	166		1	1	
	〔言語〕『古今和歌集』と『土佐日記』を読み比べる—阿倍仲麻呂の歌	(1)ア、ウ、エ／ (2)イ、ウ		(1)イ、エ、オ／ (2)ウ	170		1	1	
	新古今和歌集〔言語〕	(1)ア、ウ、オ／ (2)ウ		(1)ア、イ、ウ、エ、 オ／(2)イ	172				
	■古文の窓9 勅撰和歌集の構成	(2)イ		(1)エ	176		1	1	
	●古文学習のしるべ5 和歌の修辞	(1)オ／(2)ウ		(1)ア	177				
	〔言語〕短歌を作る	(1)オ／(2)ウ	(1)イ／ (2)ア		179	2		2	
	恋の歌を読み比べる〔言語〕	(1)ア、ウ、オ／ (2)イ		(1)イ、エ、オ／ (2)オ	182		1	1	
6作り物語と軍記物語	竹取物語〔言語〕	(1)ア、ウ、エ／ (2)ウ		(1)ア、イ、オ／ (2)イ	186				
	■古文の窓10 さまざまな竹取説話	(2)イ		(1)エ	191		1	1	
	■古文の窓11 古典文学の中の富士山	(1)ア／(2)イ		(1)エ	194				
	平家物語	(1)ア、ウ、エ／ (2)ウ		(1)ア、イ、ウ	196		3	3	
	〔言語〕受け継がれる『平家物語』	(1)ア／(2)カ		(1)ウ、エ、オ／ (2)オ	206		1	1	
7俳諧	奥の細道〔言語〕	(1)ア、ウ、エ／ (2)ア、ウ		(1)ア、イ、ウ、エ／ (2)イ	210		2	2	3 学 期 9
	〔言語〕文学碑を調べる	(1)ア	(1)ア		218	1		1	
古文の広がり	昔の犬は何と鳴く〔言語〕	(2)ア、エ、カ		(1)イ、オ／(2)ア	220		1	1	
	文体の変遷	(2)ア、イ、オ		(1)エ、オ	225		1	1	
	古文編 計					3	28	31	
漢文編									
1漢文入門	訓読の基本	(1)ア、ウ、エ／ (2)ア、ウ		(1)ア	230				1 学 期 6
	〔言語〕漢字の読みと意味—漢和辞典を活用しよう	(1)イ、ウ／(2)エ		(1)ア	239		2	2	

単元	教材名	学習指導要領の内容			頁	配当時数			学期
		知識及び技能	思考力、判断力、 表現力等			書	読	計	
			書くこと	読むこと					
	故事成語一三編 〔言語〕	(1)ア、ウ、エ／ (2)イ		(1)ア、エ、オ／ (2)イ	240				
	■漢文の窓1 『韓非子』の寓話のねらい	(2)イ、エ		(1)ア	241		1	1	
	■漢文の窓2 「助字」—漢文理解の鍵	(2)ウ		(1)ア	244				
2 寓話	寓話一三編	(1)ア、ウ、エ／ (2)ア、ウ		(1)ア、イ	246		3	3	
	■漢文の窓3 名前の表し方	(2)ア、ウ		(1)ア	250				
3 詩文	絶句と律詩一八首 〔言語〕	(1)ア、ウ、エ／ (2)ア、イ、ウ		(1)ア、イ、ウ、エ、 オ／(2)イ、ウ	252		2	2	2 学 期 7
	■漢文の窓4 漢詩の形式ときまり	(2)ウ		(1)ア	259				
	文	(1)ア、ウ、エ／ (2)イ		(1)ア、イ、ウ	260		1	1	
	〔言語〕訳詩を書く	(1)ウ (2)ウ、エ	(1)ア、 イ		262	1		1	
4 史話	史話一三編 〔言語〕	(1)ア、ウ、エ／ (2)イ		(1)ア、イ、オ／ (2)イ	264		3	3	
	■漢文の窓5 天子を称する者—王から皇 帝へ	(2)イ		(1)エ	272				
5 思想	論語一十章	(1)ア、ウ、エ／ (2)イ		(1)ア、イ	274		2	2	3 学 期 5
	『論語』の注釈を読む	(1)ア、ウ、エ／ (2)ア、イ		(1)イ、エ、オ／ (2)ウ	278		1	1	
	〔言語〕「孔門の十哲」名鑑を作る	(2)イ	(1)ア		281	1		1	
	孟子	(1)ア、ウ、エ／ (2)イ		(1)ア、イ、ウ	282				
	■漢文の窓6 科挙と学問—作詩から経典 解釈へ	(2)イ		(1)ア	284		1	1	
	漢文編 計					2	16	18	
	合計					5	65	70	